

# 米欧回覧

第10号  
編集・発行  
米欧回覧の会  
事務局

## 第八回例会並びに新春交歓パーティ

### 国際交流部会担当で盛況！

第八回例会並びに新春交歓パーティは、一月二十八日（水）午後六時から国際文化会館で会員及び同伴者など七十数名の参加を得て盛大に開催された。一部は講堂ホールにて浅沼晴男氏の司会のもとに行われ、最初に泉三郎氏より会務報告があり、続いて部会担当の幹事からそれぞれの報告があった。次いで講演の部に入り、茨城大学名誉教授で現流通経済大学教授の中川浩一氏による「世界漫遊家の曙時代―岩倉使節団のころ」と題する講演が行われた。十七世紀から始まった英国貴族の子弟たちのイタリヤ、フランスへのグランツアア、十九世紀における英国新興ブルジョワの地中海をわたってのオリエントへの旅、そして



いよいよ世界一周の漫遊家が登場する時代へ・・・わが岩倉使節団はまさにその曙時代に世界を一周することになったという大変興味のあるお話でした。

二部の新春交歓パーティは会場を本館榊山ホールに移して、七時四十分から山田哲司氏の司会で行われた。最初に「ボンケ・パーティ」の由来が語られ、「岩倉使節団が新年を迎えた太平洋上の船上での新春パーティに因んだ趣向との披露があり、ボンケ（パンチの意）なるカクテルで乾杯して新春を祝った。なお、ゲストであるヘラルド・トリビューンジャパン社長のサイモン・テイミス氏のスピーチや「実記を読む会」のメンバーである大原進氏の「サンフランシスコ入港」の朗読やオペラ歌手阿部葉子さんの「ウィーン、わが夢の街」などの独唱もあり和気藹々たる雰囲気の中で大変楽しい充実した新年会となった。



「岩倉使節団」とその記録「米欧回覧実記」にはいくつものアプローチがありますが、その一つが旅の側面であり国際交流の側面でもあります。

近代とくにここ数十年の交通通信機関の発達が目覚ましく、文物の国際交流はいよいよ盛んになり、人も情報も膨大なスケールで国際間を交流しています。それはまことに素晴らしいことですが、一方でマイナスも生んでいます。

### 国際交流部会に期待する

泉三郎

お持ちの方が多いので、みなさんで知恵を出し合ってグローバルな時代に通用する日本人の生き方、ノウハウを考察していただけないかというのが第一の期待です。

それから期待したい第二のことは旅そのものに関することです。むしろ今回のような旅にまつわる講演も大歓迎ですし、ヨコハマツアーのような旅も大変結構です。これからこの種の企画をすすめて下さると嬉しいですね。

それから三つ目に期待したいのが会員同士の交流、親睦です。

今回の新春交歓パーティのような企画は楽しくてお互いの交流、親睦にも非常によかったと思います。

幸いこの会には国際交渉について豊富なキャリアを

持つと欲張りすぎだといわれるかも知れませんが、それだけこの部会は多面的で奥行きがあり魅力に富んでいるということではないでしょうか。



各分科会  
活動だより

歴史グループ

連絡 半澤健市 TEL&FM 03-3717-5576  
(自宅) (できればファクスで)

「現状と今後の予定」  
歴史部会は、地方会員の方を含めて、四十名ほどの登録があります。

部会の常連出席者は十名から十五名で、まとまりよく十分楽しい会合ですが欲を言えばもう少し人数が増えたとより楽しいだろうと考えています。

岩倉使節団との関係を意識しながら日本近現代史を勉強していこうと考えています。

テーマの選定は難しくもあり楽しくもありというところがあります。

部会員はもちろん会員のどなたでもテーマのタイトルをお寄せいただくのを大歓迎します。

すでに「明治憲法成立史」を二回やってきましたが、第四回は二月二十三日に「明治憲法と平和憲法」と題して幹事の簡単な報告のあと、自由討論を行います。

長尾龍一氏の「憲法問題入

門」(筑摩書房の「ちくま新書」の一冊)をテキストに使用します。歴史部会登録メンバーには二月初めにご案内しましたが、それ以外のメンバーでも関心のある方は連絡を幹事半澤(はんざわ)へどうぞ。

七月の例会(例年は年四回ある「米欧回覧の会」の全会員対象の会です)は歴史部会の担当となります。「司馬遼太郎」論や「日本近代と昭和史」の関わりなどをテーマにしようかと考えています。

「歴史部会」への参加をお待ちしています。

映像グループ

連絡 足立光正 TEL 03-3375-8668  
FM 03-3375-8561

会員でもまだ「映像」を見ていない人もあり、また会員以外でも機会があれば是非見たいという人も少なくないので、少なくとも一年に一回は全編を一挙に上映する会をしようと思っています。

なお、現在ある泉三郎氏制作の映像は、全十巻のオリジナル版(約三分)、全三巻のダイジェスト版(九十分)、全五巻の英語版(百二十分)、岩倉使節の群像一巻です。

現未来グループ

連絡 郡山史郎 TEL 03-3492-8553  
FM 03-3492-8144

現未来部会では、第一回の会合(六月十日)で初年度の計画として、テーマを分けて議論をしようということになり、モラル・経済・政治の三つを選びました。

モラルについては、九月に合宿して議論し、日本人の心を深く探り、そのよりどころになるものを見出したように思えます。

それをもとに十月二十五日の第七回例会を担当しました。大変活発な意見の交換が出来て参加の皆様にご感謝しています。ただ、アンケートの中にもありましたように、具体論、実践論、どう行動するか、の部分がまだ不十分です。これを次の二つのテーマの議論を通して、かためていこうと希望しています。

経済については十一月二十七日に会合を開きました。さすがに肺腑をえぐる本質論、果敢な方法論が続出し、これはどうも次の政治のテーマがますます面白くなりそうです。

十一月の会議のメモランダムは、一寸遅れていますが近日

国際交流グループ

連絡 浅沼晴男 TEL 080-596-1589  
FM 0462-75-5634

中にお送りします。(部会メンバー以外の方にも、ご希望があれば配布します)。

政治をテーマの意見交換会は、別途案内通り二月二十七日に予定されていますので、ふってご参加下さい。三つのテーマの議論が終わったところで、まとめのミーティングを三月四月頃やりたいと計画しています。手前みそですが、本当に言いたいことを自分の言葉で大声で言える機会、またそのような意見をお互いじっくり聞いて、質疑が出来る機会、というのはいずれも無いと思います。皆様の引き続いたご支援をお願いします。

末筆ながら、会にご参加いただいた方々、私のパートナーの幹事塚本弘さんには、あらためて御礼申し上げます。

今年もまた旅を企画しており、そのために皆さんの希望がどのへんにあるのかを知りたく、アンケートをお願いいたしますので、どうぞご協力ください。

関西支部  
第二回会合の報告

関西支部では、十一月二日に二回目の会合を持ちました。今回は三宮・三宅さんのおかげで大阪大学工業会の会議室を借りることができ、午後一時から五時迄ゆっくりと話ができました。岩倉大使ゆかりの岩倉具忠氏夫人であり「岩倉使節団とイタリヤ」を出版された岩倉翔子さんを始め参加者九名でした。

初めに自己紹介、その中で榎居さんが「実記」には出ていない話として、一行が赤十字社創設者の一人ギョウファ・モアエエ邸を訪ねたこと、正二位の肩書きのある名刺が残っているなど話されました。

続いて中川さんから、森有礼がアメリカで教育専門家に對して日本の将来の教育についてアンケートを行い、その結果に自ら日本歴史の概要を付し「Education in Japan」と出版し、これを読むと欧化論者として有名な森有礼が日本の天皇制を評価しているなど、違った一面を見ることができるとのお話でした。

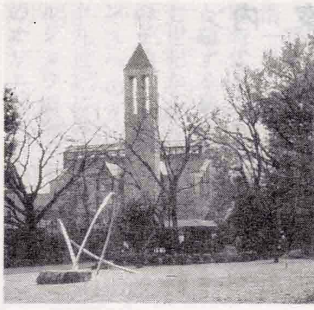
次に岩倉夫人よりご自身のイタリヤ留学の動機などからローマの日本文化会館で一日



紅葉の美しいキャンパスで・・・  
「世界一周旅行」を楽しむ

映像部会主催のスライド上映会が昨年十二月六日、白百合女子大において開催され、出席者は百三十数人となり会場はほぼ満員の状況となりました。

スケジュールは別記の通りでしたが、まる一日かけてのマラソンの上映にもかかわらず途中で落伍する人はほとんどなく、皆さん岩倉使節の一員になったつもりで、最後まで完走されました。また、上映の合間や終了後に各方面の方々からコメントをいただきましたが、それがさらに会を充実した楽しいものになりました。



アンケートから視聴者の感想を一部抜粋してお伝えします・・・  
つくづく明治の先人たちのすごさ、すばらしさを教えていただきました。平成の今、何故このような人が現れないのだろうかとも感じ、くやしい思いがします。  
いま、この時期の上映はいかにもタイムリーであったと思います。より多くの人が

第一部 アメリカ編

- スライドと解説 10:50～12:20
  - 1) 横浜出帆からサンフランシスコまで
  - 2) アメリカ大陸横断・汽車の旅
  - 3) ワシントン滞在と東部回覧
- コメントタイム 12:20～12:30
- ランチタイム 12:30～13:20

第二部 英仏編

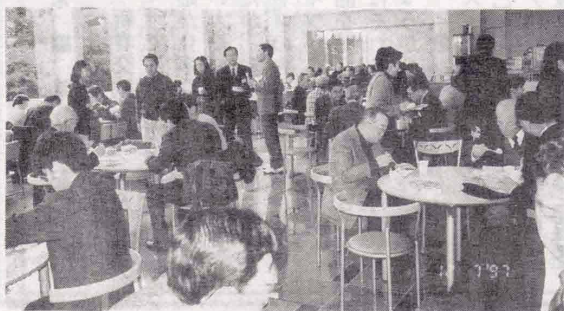
- スライドと解説 13:20～14:50
  - 4) 最盛期の大英帝国を往く
  - 5) 英国社会の光と影
  - 6) 麗都パリは天宮の如し
- コメントタイム 14:50～15:00
- コーヒータイム 15:00～15:20

第三部 ヨーロッパ&アジア編

- スライドと解説 15:20～17:00
  - 7) 二つの小国と新興ドイツ
  - 8) 大国ロシアとスカンディナヴィア諸国
  - 9) 南国イタリアとウィーン万国博
  - 10) スイス遊覧 そして帰国へ
- コメントタイム 17:00～17:25

に見ていただくべきだと思います。  
●日本における「近代」ということの根源を見たように思います。  
●日本が日本人を失っていく現在、日本人が日本人を思いだし、日本人の現在位置を確認し定位置を求めらる必要があると私自身は考えています。とくに肥大化した複合文化、異質文化の中で、日本の固有文化の衣をどこに日本人は着込んでいくか？・・・いろいろと考える中で、この「米欧回覧」がいかに「すごい」かを感じます。

●アツと言う間の一日でした。体系的に見せていただいた大変面白かった。コメントタイムは食後のデザートのように楽しく聴かせていただきました。  
●スライド(静止画)はメリハリが効いていて新鮮、長時間でも目が疲れ難いし、あえて動画にする必要はないと思います。  
●とても素晴らしい企画で感動しました。  
●居ながらにして世界一周旅行をした感じ。出来れば各巻の中味を長く濃くしてもう一度見たいと思いました。



※本の西洋発見！ある外交使節団」という展覧会が開かれ、その資料を基に「岩倉使節団とイタリア」の本ができたことなどお話しになりました。  
続いて山崎から、この六月に訪ねたロシア、サンクト・ペテルブルグについて「実記」を読みながらの旅行で色々考えたことをお話ししました。  
お陰で、加納さんの収録されたNHKの「日本の座標軸」をビデオで見る時間が少なくなり、始めのところだけ見て後は次回の楽しみとしました。  
(山崎記)



＜催し案内＞

『米欧回覧の会』ご案内

**趣旨** この会は「岩倉使節団」に興味を持ち、その記録である、「米欧回覧実記」に関心を抱く人々の集まりです。この大なる旅と「実記」はまさに「温故知新」の宝庫と言えます。この素材を媒体にして歴史をふりかえり現代の直面する諸問題についても自由に語りあおうという会です。

**会員** 上の趣旨に賛同する人なら誰でも入会できます。

**例会** 年に4回くらい会合をもつ予定です。

**事業** 次のような活動をする予定です。テーマ別グループ活動・映像サロン・講演会・旅行会研究会・シンポジウムなど。

**機関紙** 年に4回程度機関紙を発行し、会員の意見発表、情報交換の媒体とします。

**幹事** 会員の中から、代表1名、幹事数名を選び、運営を担当します。

**会費** 年会費3,000円とし、主として通信費および機関紙代に充当します。例会・研究会・講演会などについては、その都度の会費とします。

**事務局** 当面は『ミササ・オフィス』に置きます。

〒192 八王子市元横山町1-14-16-0063 TEL 0426-46-1949 FAX 0426-45-8700

**入会申込**  
氏名・連絡先(自宅或いは勤務先の住所) TEL・FAX 現職&キャリアを事務局までFAXまたは郵便でお送りください。なお、年会費は郵便払込が便利です。  
00180-2-580729  
米欧回覧の会

★第9回例会案内

日時：1998年4月25日 13:00～17:00  
場所：日本プレスセンター (日比谷公園前)  
テーマ：「米欧回覧実記」を読む  
スケジュール：総会と講演の予定  
講師：竹内啓一先生 (駒沢大学教授) (一橋大学名誉教授)  
詳しくは別にご案内します。

★分科会

・実記を読む会 (第8回) 3月5日 (木) 18:30～21:30  
場所 クラウンインターチェンジ (03-5469-2090) FAX 5469-2093  
(ご希望があれば地図をFAXします)

**会費** 3,000円 (夕食・ビール・お茶代含む)  
**解説** 泉三郎氏  
水沢周氏 (ノンフィクション作家)

**テキスト** 久米邦武編「米欧回覧実記」岩波文庫

・歴史部会 (第4回) 2月23日 (月) 18:30～21:00  
国際文化会館Cルーム

**テーマ** 「明治憲法」と「平和憲法」  
**テキスト** 長尾龍一氏「憲法問題入門」(ちくま新書)  
**会費** 1,500円位 (会場費)  
夕食は各自済ませて下さい。

・現未来部会 (第4回) 2月27日 (金) 18:30～21:00  
国際文化会館Eルーム

**テーマ** 「日本の政治(その改革のためのアイデアと行動)」  
**会費** 3,000円 (夕食・飲物代を含む)

★関西支部の集まり (第3回)

1998年2月17日 (火)  
大阪大学工業会会議室 (近鉄堂島ビル20階)  
(06-344-6171)

お問い合わせ

電話・FAXとも06-853-3137 山崎岳磨  
今後の集りに関して少なくとも4ヶ月毎くらいには開くこと、月半ばの平日、1時からと申し合わせました。また一泊で「維新前後の京都」探訪の旅を企画したいとの話も出ました。  
東京ほど盛大にはなりません、それだけ気楽にいろいろの議論のできる場にしたいと思いますのでご関心のある方はどうぞお気軽にご連絡下さい。

＊編集後記

新春交歓「ボンケ・パーティ」では、わが大和撫子の歌姫が見事な美声でアリアを歌い大輪の花を添えてくれましたが、岩倉使節の面々もボストンの大音楽祭に招かれてドイトンの大音楽祭に招かれてドイトンからの歌姫の素晴らしい曲を聴いています。さて久米はそれをどう描写したのでしようか?

「歌謡絶倫ノ婦人一名ヲ聘ス、謡謡盛粧シテ壇ニ上ル、己ニシテ楽起リ歌発ス、其声ノ玲瓏タル、細ナルハ切々、縷ナルハ嘈嘈、曲急ニ調促スレハ、鶴唳ノ空ヲ渡ル如ク、乍チ滑ナルハ、流鶯ノ花ニ囀スルカ如シ・・・」

なんとも時代を想わせる表現でありますな。

ところで、このニュースに会員の声「ボイス欄」を新設しようと思気込んだのですが、目下のところ空振り投稿なく本号は四ページで終わります。みなさんの「掲示板」、「投書欄」、「提案欄」といったつもりでおりますので、「鶴の一声?」や「鶯の美声?」をぜひお寄せ下さい。